ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川江の川水系小原川　通常砂防工事に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	7	5	2	1	0	0	4

シートNo.

ボーリング名	H28-4	調査位置	広島県安芸高田市吉田町上入江	北　緯	34° 36′ 28.5100″
発注機関	広島県西部建設事務所　工務第二課	調査期間	平成28年 7月26日～平成28年 7月28日	東　経	132° 38′ 26.1800″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	260.57m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1－C48	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	10.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13MEK	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率(%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
1	259.57	1.00		砂礫	暗褐						砂礫。最大φ=50mm程度の角礫を多く含む。少量のガラス片や、瓦片を所々に含む。砂は細～中砂を主体とする。	(100)		7/28 1.30	1.15 / 1.45	11/30					200		シングル／MC	100.	050	0.0	無水／0	0
2	258.57	2.00		礫混り砂	暗褐灰						礫混り砂。 礫は最大φ=50mm程度の泥岩である。 砂は細～中砂を主体とする。	(100)			2.15 / 2.45	32/30											
3	256.57	4.00		砂礫	暗茶褐						砂礫。 砂は中～粗砂を主体とする。 礫は、亜角礫で、泥岩を多く含む。 礫種は泥岩を多く、砂岩、流紋岩も少量含む。	(100)			3.15 / 3.45	25/30											
4															4.15 / 4.45	39/30				7/26							
5	255.57	5.00		流紋岩	茶褐灰	E	VI	d	ε		風化した流紋岩。 コアは主に砂状～岩片状を呈す。 GL-4.00～5.00m間は、指圧で土砂状に崩れる。	0[0](100)	D		5.15 / 5.45	23/30					66	ダブル／DI	0.0	50	0.0	泥水／5	5
6						D	V	c	δ			0[0](100)			6.15 / 6.45	27/30											
7	253.57	7.00								1		0[0](100)			7.15 / 7.40	50/25											
8	252.57	8.00									流紋岩。 GL-7.00m以深は、亀裂が密に発達し、ハンマーの軽打で岩片状に崩れる。 コアは短柱状～柱状を呈す。流紋岩の組織は明瞭である。	20[30](100)	CL		8.00 / 8.05	50/5											
9	251.57	9.00			茶褐	C	III	b	γ			22[53](100)	CM		9.00	貫入不能				7/27	100	ダブル／DI	100.	080	0.2	泥水／15	15
10	250.57	10.00										11[11](100)	CL		10.00	貫入不能				7/28							
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												